

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム こくぶ太陽の家

作成日 平成 30年 2月 18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念について職員が理解、職員間での共有がなされているか	職員への周知、職員間で理念を検討し共有する	①申し送りの時に出勤者全員で唱和する ②理念を基に各自1年間の努力目標を掲げ、事務所へ掲示	①実践、継続中 ②2月中
2	2	地域への認知度や交流面で希薄な印象	地域交流を計画的に取り入れ、近隣の高齢者数や世帯状況を把握。分析した上で施設とどう繋げていくか検討する。	①自治会長さんに協力いただき、高齢者世帯のリストを作成する。 ②自治会外への自宅訪問、連絡先の交換	①2月中 ②2月中
3	3	運営推進会議における家族の参加が少なく、会議の参加者や内容も固定化されている	家族に毎月参加頂く。内容も見直し、お土産としても役に立つような情報提供の機会、場作りを目指す	①毎月の家族への手紙にて参加依頼も添える ②他施設の運営推進会議にも参加し、内容を参考にし一新する	①1月会議にて2家族参加 ②他施設に依頼済み、3月見直し
4	12	重度化した場合や終末期の方針に関して、段階を踏んでの家族との確認が文書でなされていない	ケアマネと連携し家族連絡を密に行う。段階を踏まえて書類の形式を変え、多様な状況にも対応可能な文書を作成	①他施設等の資料も参考に、段階ごとの文書を作成 ②半期毎に行う家族会にて定期的な確認	①2月中 ②3月家族会にて初回実施
5	4	身体拘束の3原則の周知確認、やむを得ず行う時の理由付けや目的が不明瞭である	アセスメント、モニタリング、カンファレンスをしながら拘束について検討。廃止に向けての取り組みを意識し、必要なら記録に残す	①ミーティングにて職員間で廃止に向けての打開策の検討。 ②本人と家族への確認、記録や文書へ残す	①1月ミーティング後より実践 ②1月ミーティング後より実践

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。